



認定NPO法人
地域福祉を考える会
「子ども支援事業について」

Society of Study for Community Works
(略称)SSCW

～ひとりぽっちに寄り添って～

地域福祉を考える会 事務局長 中台和子



基本方針



本会の基本方針

- 一人一人に寄り添って、それぞれの方の充実した生活(暮らし)の実現(自己実現)を目指す

第1の柱: 法人としての中期・長期計画の策定と
基盤の整備

第2の柱: ボランティア精神を大切にしつつ、
しっかりとした事業法人へ

第3の柱: 学習活動の強化

会の活動



- 1992年・・・「地域福祉を考える会」発足
- 2001年8月・・・「友愛電話活動」開始。
- 2004年11月・・・「特定非営利活動法人」認証、設立。
- 2005年7月・・・「子育てひろば“きらきら”」活動開始。
- 2006年5月・・・「成年後見受託事業」開始。
- 2006年10月・・・「児童コミュニティクラブ事業」受託開始。
- 2011年4月・・・「未来セミナー」読書会開始。



- 2014年12月・・・県指定NPO法人を取得。
- 2016年 6月・・・「**みらいクルリン・こども食堂**」活動。
- 2016年 9月・・・「**学習サポートみらい・つなぐ**」活動。
- 2016年 9月・・・「認定NPO法人」取得。
- 2017年 10月・・・「けんこう👉つなぐ👉うたごえ」活動。
- 2018年 4月・・・「**市子ども学習習慣づくり支援事業**」
受託。

こども・母親支援活動

・子育てひろばきらきら

2005年7月（平成17年～

＜活動方針＞

お母さんやお子さんが、共にゆったりとした雰囲気の中で
おしゃべりしたり、子育て中の悩み等を共有し、子育て中の
お母さんの息抜きの出来るようなひろば



小さなお子さんをお持ちの方、これからママになる方、お気軽にお立ち寄りください

30年度 子育てひろば

きらきら



日時 火曜日・木曜日 10:00~12:00

(予定表をご覧ください)

場所 シティプラザ 1階 ふれあいホール

参加費 1家族 100円 ★申込みは不要です!

主催 認定 NPO 法人 地域福祉を考える会

TEL・FAX 0463-95-6665



< 予定表 > みんな集まれ!! この指と~まれ♪

	火	木	火	木	火	木	火	木
10月	2 🖐️	—	16	—	23	25	30	
11月		1 🖐️	—	—	13	22	27	29
12月	—	—	11 🖐️	13	—	—	25 クリスマス	—
1月	—	—	15 🖐️	—	22	24	—	—
2月	5 🖐️	7	12	14	—	—	—	—
3月	—	7 🖐️	12	—	—	—	26	—

🖐️ 月初めの日には手形づくりの日、お子さまの成長を楽しみましょう

“きらきら”の会場



ホールの前にきらきらのぼりが皆さんをお迎え

活動の様子

子ども達はゆったり過ごし



活動の様子

安心してお昼寝



ボランティアによるイベント

年間を通してボランティアによる人形劇・紙芝居



ニュースレターで子育て情報の提供

平成 27 年 8 月 28 日発行 第 73 号

地域福祉を考える会(6)

子育てひろば「きらきら」



…ひととき
7月7日(土)
者(親子)に
のお話あり



◆活動場所

◆時 間

◆参加費

予約は
どなた

知っておきたい

カミカミの基本

食べ物が口の中に入って来た時、噛めば噛むほど出てくる唾液。この**唾液**は単に食べ物を食べるためだけのものではなく、子どもの成長に欠かせない大切な役割をいくつも持っています。

美味しい食べ物が口の中に入って来た時の唾液は酵素を多く含んでいて、**栄養の消化・吸収を助ける働き**をします。そして、歯ですりつぶされた食べ物と混ざって、飲み込みやすい滑らかな状態になると口の隅々まで行きわたり、**味を感じる事が出来る**のです。

ちゃんとカミカミしてるかな？

さらに虫歯菌が出す酸を中和したり、口の中に入った細菌などの毒性を減らすなど、**口の中や身体を守る重要な役目**を果たしています。

また、食べ物のカルシウムと結合して**歯の表面を強く**したり、亜鉛と結合して**味覚も発達**させます。

唾液をたくさん出すにはよく噛んで味わう事。リラックスした楽しい気持ちで食事することも大事です。

また**噛むこと**で脳に刺激を与え、**脳の血流量が増えて脳に栄養や酸素が送られます**。子どもだけでなく、お年寄りにとっても大切です。

check!

前歯だけで食べていない？

check!

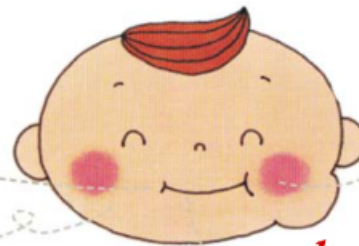
モグモグしないでゴックンしてない？

check!

奥歯のあたりでモグモグしている？

check!

口を閉じて食べている？



Benesse 『子どもごはん』より

こども支援事業の取り組み

- いせはらみらいクルリンこども食堂

2016年6月（平成28年～

- 学習サポートみらい・つなぐ

2016年9月（平成28年～



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

趣旨



- 相対的貧困率は悪化しつづけており、2014年の厚生労働省の発表によると、16.3%であることが明らかになりました。教育格差、貧困の連鎖が広がっています。生活保護を受けている、もしくは、年収が生活保護費とかわらないワーキングプアの家庭で育つ子どもが、6人に1人いるのです。地域の子どもを、地域が見守り、学びや暮らしを有機的に支えるネットワークをつくり、子どもの未来を明るく変えていきたいと願っています。さまざまなカタチの居場所を通じて、信頼できる大人や若者につながったとき、一人の子どもの人生が大きく変わる可能性があるかと信じています。
- 現在、子供の6人に1人は貧困家庭にあると言われていています。家計が苦しくて十分な食事がとれない子。家庭の事情で夕食は一人、コンビニ弁当やインスタントもので済ませてしまう子。心と体を育むはずの「食」が揺らいでいます。こうした状況の中、食の面から子どもに支援しようと立ち上げました。

いせはらみらいクリリンこども食堂



- 目的:

地域には様々な環境の子どもたちが住んでいます。

どの子どもたちも大切な存在です。私たちは、ご飯を一緒に食べることで大切な子どもたちの育ちを見守りたいと考えています。また、子育ては一人で抱え込まないで欲しいと願っています。この食堂が皆さんにとりまして安心して過ごせるコミュニティの場所となりますように願っています。

- 利用者:子供も大人も。一人でも家族でも、誰でも参加できて、みんな
で楽しくご飯を食べる場所 =みんなの食堂
- スタッフ・サポーター 約25名
- 場 所:だいろくコミュニティ広場 来るりん(伊勢原駅北口徒歩2分)
- 時間帯:月2回 (PM5:30~PM7:30)
- 参加費:おとな300円 こども100円
- 場所代:1回 4,000円(厨房代含)
- 資 金:参加費・寄付金・物品寄付(ご支援いただく皆様の善意事業)

こども食堂の様子



4月から8月まで利用者数

30年度

回数	期日	曜日	大人	こども	計	スタッフ数
1	4/10	火	47	36	89	18
2	4/26	木	53	37	90	21
3	5/8	火	38	21	59	15
4	5/24	木	51	40	91	19
5	6/12	火	45	33	78	17
6	6/28	木	49	31	80	15
7	7/10	火	46	40	86	17
8	7/26	木	53	47	100	20
9	8/7	火	48	34	82	17
10	8/23	木	40	24	64	23

4月～8月の献立

- 4月10日(火)お赤飯・筑前煮・コロッケ・サラダ・汁もの・果物
- 4月26日(木)たけのこご飯・いわしの煮つけ
- 5月 8日(火)ハヤシライス・野菜サラダ・果物
- 5月24日(木)酢豚風肉団子・温野菜・スープ
- 6月12日(火)カレーライス・サラダ
- 6月28日(木)すいとん汁・ひじき煮・コロッケ・サラダ
- 7月10日(火)夏野菜カレー・春雨サラダ・スイカ
- 7月26日(木)サバ煮・肉じゃが・スイカ
- 8月 7日(火)チキンカレー・春雨サラダ・ナスの揚げ煮他
- 8月23日(木)五目ごはん・かぼちゃの煮つけ・ソーメンスープ



☆ 食材提供：延40件
月2回生活協同組合ユーコープより提供(フードバンク)

毎回、水耕栽培のお野菜をご提供いただいています。⇒



子ども食堂の衛生管理について



調理する人の衛生管理

- 調理する人時は、清潔なエプロン、三角巾、マスクなど着用
- 体調不良や手指に傷がある場合は、調理を行わない
- 手洗いはまめにする。

食品の衛生管理

- 出来るだけ家庭などで調理した食品は持ち込まない
- 出来る限り加熱したメニューを選択する。

調理器具の衛生管理

- 食器、まな板、包丁などは使用前に洗浄し、消毒する。

食中毒などの事故対策

- 事故発生時に備え、連絡先を確認し記録する。

「学習サポートみらい・つなぐ」

平成28年9月開始



- 事業の立ち上げ： 経済的に困窮している家庭の子どもたちに、低額で学校教育外の学習支援、子どもたちが将来に希望をもてるよう支援を届けたいと願っています。
- 目的： 学習支援サポート事業は「学習支援」「子どもの居場所」「保護者相談」を柱として進めたい
 - 「学習支援」では教員OB・学生ボランティア等の支援によりその子どもに添いながら効果的な学習支援をしていく
 - 「子どもの居場所」では、学習支援だけではなく、居心地のよい雰囲気づくりを行う。
 - 「保護者相談」では、保護者に対して、継続的な相談支援を実施し、状況に応じて他の専門機関への紹介を行う
- 運営資金： 寄付金・助成金等

要件と内容

- 事業対象の要件:・ひとり親福祉協会支援、低所得者家庭、生活保護家庭
- ・塾に行きたくても行けない家庭(生活困窮世帯)
- ・進学に向けた意欲が少ない子どもさんの居場所
- ・高校の授業になかなかついていけない、やる気がない
- ・学校に行きたいけれど今の成績だとちょっと厳しい

◇年 齢 : 小学5,6年生・中学生

◇名 称: 子ども学習支援みらい・つなぐ

◇スタッフ: 教員0名・学生・社会人・主婦

◇形 態: 個別・グループ指導

◇実施場所: いせはら市民活動サポートセンター

◇学習科目: 英語・数学・国語を中心に、本人の意向に応じて実施

◇実 施 日: 週2回(水・金)(30年度から火・金)

◇利 用 料: 月500円 (30年度から無償)

◇ボランティアの謝礼:費用弁償、傷害保険加入

◇おやつ: フードバンクからの提供、寄付

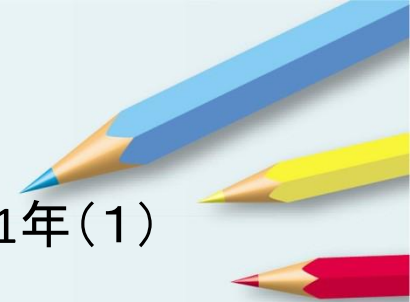
<課題>

- 活動資金のため助成金などの活用
- (子供の未来応援基金によるNPO等支援)



活動の様子

受講生： 小学5年(6)・6年(2)：中学1年(5)・2年(3)・3年(12)・高1年(1)
スタッフ： OB教員(5)主婦(3)大学生(14) 29年度現在



30年度活動

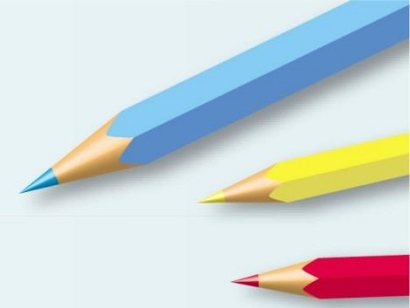


- 4月～市、子ども学習習慣作り支援事業を受託
- 開設日：火曜日 委託事業・金曜日 自主事業
- 児童生徒数：小5(1)小6(8)中1(4)中2(9)中3(12)
養護学校(2)高1(1)計 37人
- サポーター数：教員OB(5)一般(3)大学生(25)
- 費用：無償
- おやつ提供
- 運営費：補助金・助成金・寄付
- 場所：いせはら市民活動サポートセンター内

学習サポートみらい・つなぐ 仲間 H30,8



その他



- 市社会福祉協議会ボランティア登録
- 市民活動サポートセンター登録
- いせはら災害ネットワーク登録
- 神奈川ゆるるネット登録

広報活動

- 隔月にニュースレターを発行
（公共施設に配布等）
- 「地域福祉を考える会」ホームページ運営
<http://tiikifukusi.com/>

認定特定非営利活動法人地域福祉を考える会
会員92名（役員19名・監事2名）



今後の課題と展望

- ・空き家のような大きな空間に多世代が集まって多様なことのできる場所(子ども食堂と学習支援の一体化)
- ・安定した財源の確保
- ・学習支援サポーターの確保

ご静聴ありがとうございました。



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

30年度 学習サポートみらい・つなぐ 学習予定表

10月~12月

	火	金	火	金	火	金	火	金	火	金
10月	2	5	休 9	休 12	16	19	23	26	30	
11月		2	6	9	13	16 シティ プラザ	20	休 23 祝日	27	30
12月	4	7	11	14	18	21	クリス マス会 25			

(注意)

- 10月第2週9日(火),12日(金)学習支援お休み
- 11月16日(金)場所;シティプラザ1階会議室です。
(市民活動サポートセンターはサポセンフェスタ前日準備のため使えません)
- 12月25日のクリスマス会は後日連絡をいたします。

・・・お知らせ・・・

- ☆2学期中間テスト
10月4日(木)、5日(金)
- ☆2学期期末テスト
〈山王・伊勢原・中沢中3年生〉
11/7(水)~11/9(金)
〈成瀬中3年生〉
11/12(月)~11/14(水)
〈山王・伊勢原・中沢中1年・2年生〉
11/20(火)~11/22(金)
〈成瀬中1年・2年生〉
11/27(火)~11/29(木)



◇お休みをするときは必ず連絡を。

携帯：[090-3479-4810](tel:090-3479-4810)/メール harmony_kako@docomo.ne.jp 中台
NPO 法人 地域福祉を考える会事務所：0463-95-6665

いせはらみらい・クリン

こども食堂



Kids Cafeteria 儿童饭厅 Tiếng việt

こども おとな ひとり かぞく
子供も大人も、一人でも家族でも、
だれ さんか たの
誰でも参加できて、みんなで楽しく
ごはん た ぼしょ
ご飯を食べる場所

おとな 300円
こども 100円
(高校生まで)

場所 だいろくコミュニティー広場 来るいん
時間 pm5:30~7:30

- 10/9(火), 25(木)
- 11/6(火), 22(木)
- 12/4(火), 20(木)
- H31, 1/17(木)
- 2/5(火), 21(木)
- 3/5(火), 28(木)



プラザアサヒ内1階 伊勢原1-3-10
※ この活動は だいろくコミュニティー広場 “来るいん”のご協力を頂いています。

お待ちしております!

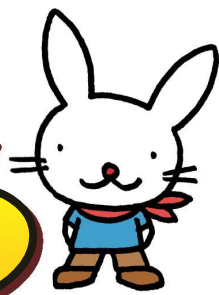


認定NPO法人 地域福祉を考える会 子育て支援・みらい
連絡先 0463-95-6665

小さなお子さんをお持ちの方、これからママになる方、お気軽にお立ち寄りください

30年度 子育てひろば

きらきら



日時 火曜日・木曜日 10:00~12:00

(予定表をご覧ください)

場所 シティプラザ 1階 ふれあいホール

参加費 1家族 100円 ★申込みは不要です!

主催 認定 NPO 法人 地域福祉を考える会

TEL・FAX 0463-95-6665



< 予定表 > みんな集まれ!! この指と~まれ♪

	火	木	火	木	火	木	火	木
10月	2 🖐️	—	16	—	23	25	30	—
11月	—	1 🖐️	—	—	13	22	27	29
12月	—	—	11 🖐️	13	—	—	25	—
1月	—	—	15 🖐️	—	22	24	—	—
2月	5 🖐️	7	12	14	—	—	—	—
3月	—	7 🖐️	12	—	—	—	26	—

🖐️ 月初めの日は手形づくりの日、お子さまの成長を楽しみましょう

○ ヨガ体操の日。○ おはなしばる~ん。

その他人形劇、ユーコープの催し物など、いろいろなイベントを企画しています

三葉草 子育てひろば”きらきら”活動

毎週1回、小さなお子さんを連れてお母さんが集まっ
てきます。スタッフは、お子さんの遊びを見守り、お母さ
んの悩みを聞き、子育ての話し相手をいたします。

活動内容

活動日 火曜日（毎週）・木曜（不定期）

午前10時～正午

場 所 伊勢原シティプラザ

養成・研修会

新人サポーター研修会 年1～2回

養成サポーター研修会 年1回

サポーター調整会 月1回

三葉草 友愛電話活動

伊勢原市社会福祉協議会の支援を得て、登録された
独居老人、障がい者、子育て中のお母さん方に電話友
だちとしてボランティアが電話をしています。週1回 約1
5分間お話を伺っています。

活動内容

活動回数 週3回

活動日 月曜日 午前、午後

木曜日 午後

場 所 伊勢原市社会福祉協議会

相談室(シティプラザ1階)

そ の 他 友愛電話調整会議

養成・研修会

友愛電話ボランティア研修会 年1～2回

三葉草 未来セミナー（随時開催）

「読書会」 地域福祉のベースになる様々な社会動向
を読書を通じて考える場所としての読書会をいたします。

「けんこう・つなぐ・うたごえ」 日本の童謡・昭和の
歌謡を通して、楽しい時間・共有できるコミュニティの場、
歌い笑うひと時。皆さんで参加しませんか。（第1土曜）

場 所 伊勢原シティプラザ

時 間 読書会 14時～16時

けんこう・つなぐ・うたごえ 10時半～12時

三葉草 その他の活動

研修会・公開講座

ニュースレターの発行（年5回）

（公共施設に配布等）

当会の会費は・・・

◆ 運営会員・・・年 3,000円

◆ 賛助会員・・・年 一口5,000円

一緒にボランティアをしませんか

…問合せ先…

〒259-1142 伊勢原市田中256番地の1-301

TEL・FAX 0463-95-6665

e-mail office@tiikifukusi.com

ホームページ http://tiikifukusi.com/

認定特定非営利活動法人

地域福祉を考える会

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会

ひといぽっちに 寄り添って！



『認定NPO法人 地域福祉を考える会』は
主に高齢者、障がい者、こどもに目を向け、
誰もが優しく支え合う街を目標に、福祉の実践
活動と学習活動をしています。

地域福祉を考える会 沿革

- ❖ 当会は、神奈川県リハビリテーションセンターの医師や東海大学の教授、福祉施設関係者、ボランティアによって発足しました。活動は、主に障がい者・高齢者の福祉問題に関する勉強会や情報交換を中心に実施してきました。
- ❖ 会は、特に伊勢原市の『在宅介護支援センター』整備実現への働きかけや、『痴呆性老人徘徊SOSネットワーク』の実現に向けた運動の活動を通して、『考える会』から『考動する会』に変化してきました。
- ❖ 1999年頃より子どもを取り巻く状況にも注目し・子育て問題他に関する学習を通じ、シンポジウム等、市民にその成果をお知らせしたり、問題提起をしたりして参りました。
- ❖ 現在会員は約80名です。益々活動範囲も広がる中、個々の会員の力を最大限に生かし、未来へ向けた地域福祉活動をめざしています。

1992年4月『地域福祉を考える会』発足
2001年11月『友愛電話活動』開始
2002年4月『オンブズパーソン活動』開始（現在：休止）
2004年11月『特定非営利活動法人』認証・設立
2005年7月『子育てひろば“きらきら”活動』開始
2006年5月『成年後見受託事業』開始
10月『児童コミュニティクラブ事業』開始
2011年4月 未来セミナー「読書会」
2014年12月 神奈川県指定NPO法人取得
2016年6月『いせはらみらいクルリン子ども食堂』開始
9月『学習サポートみらいつなぐ事業』開始
9月 認定NPO法人に認定
2017年10月 未来セミナー2「けんこう・つなぐ・うたごえ」

児童コミュニティクラブ事業

- 保護者が就労などで、放課後に留守家庭の1～6年生児童の子育て支援の事業です。

● 平成18年10月から、伊勢原市の委託事業を受託し伊勢原第1、伊勢原第2、比々多第1、比々多第2の4箇所の児童コミュニティクラブを運営しています。

成年後見受託事業

- 高齢や障がいの為に、判断能力にハンディを負っている人達があります。その人達が契約等で不利益を被ることが無い様に、横浜家裁のもとでその生活を見守り、財産管理・契約代行等、法人後見活動をしています。



活動 被後見人の財産管理及び生活の見守り、必要な手続き等の代理活動、家庭裁判所への年1回の報告・申立て、定例会・研修会参加

場所 市内外他

資質向上のための研修勉強会と、月1回の定例会を随時行っています。

こども支援事業

学習サポート みらいつなぐ

- 経済的な理由などで塾に通うことができない、低所得者家庭、ひとり親家庭の子を対象とする学習支援と居場所づくりを目的として運営しています。

対象 小学生5年生～中学生(原則)

場所 いせはら市民活動サポートセンター
(田中296)

活動日 火・金

教材費 月額500円

後援 伊勢原市

協賛 伊勢原市ひとり親福祉協会



いせはらみらいクルリン子ども食堂

- 地域の様々な環境に育つ子どもたちの大切な育ちを、ご飯を一緒に食べることで見守りたいと考えています。またこの食堂が、子育てに悩みを抱える家族をはじめ、皆さんにとりまして、安心して過ごせる場所となるようにと願っています。

利用者 子どもも大人も、一人でも家族でも、誰でも参加できてみんな楽しくご飯を食べる場所

場所 だいろくコミュニティ広場 来るりん
(伊勢原駅北口より徒歩2分)

時間帯 月1回～2回 (17:30～19:30)

参加費 おとな300円 こども(高校生まで)100円

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会
Society of Study for Community Welfare (略称 SSCW)

発行：認定NPO法人 地域福祉を考える会
発行人：理事長 宮森孝史
事務局：〒259-1142
伊勢原市田中256番地の1-301
TEL・FAX 0463-95-6665
メール office@tiikifukusi.com
ホームページ http://tiikifukusi.com/



ニュースレター

寄稿

地域共生社会に向けて

伊勢原市長 高山松太郎



地域共生社会は、高齢者・障がい者・子どもなどすべての人々が、一人ひとりの暮らしと生きがいを、ともに創り、高め合う社会です。

現在、高齢者を地域で支えるための「地域包括ケアシステム」の構築を推進していますが、地域共生社会はこれをより進化させ、困難を持つあらゆる人を地域で支えるための仕組みになると考えています。

現在の公的福祉サービスは、高齢者や子どもなどの対象者ごとに制度化され、サービスが提供されていますが、各制度の成熟化が進む一方で、縦割りシステムの課題が指摘されています。

地域共生社会が目指すのは、対象者ごとの福祉サービスを「縦割り」から「丸ごと」へと転換していくことであり、また、福祉は与えるもの、与えられるものといった「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを創造し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる地域社会を実現することです。

国では、2025年をめどに、まず介護・育児・障がい・生活困窮などに対応した包括的な相談システム体制づくりを進めることとしていますので、本市におきましても地域の特性を生かした支援体制づくりを市民の皆さまと一緒に進めてまいりたいと考えています。

30年度 未来セミナー 読書会

本をとおして地域福祉がベースになる様々な社会動向について、宮森孝史理事長（アドバイザー）と参加者の皆様とおしゃべりをしませんか。わあ～何だか難しそう・・・と感じる方は・・・とくに 参加をしてみてください・・・お待ちしております

- 場 所：シティプラザ1階会議室
- 時 間：午後2時～4時
- 参加費：300円



第1回 6月23日(土)

『ヒトは「いじめ」をやめられない』
中野信子 著



第2回 9月1日(土)

『結果を出せる人の脳の習慣』
茂木健一郎 著



こども支援事業 ～みなさまの善意とご支援に支えられ～ (こども食堂・学習サポートみらい・つなぐ)

いせはら・みらいクルインこども食堂



こども食堂＝みんなの食堂と市民のみなさまに浸透して参りました。家庭や学校以外で「子どもの居場所」ここに来れば顔見知りの大人の人が出来たり、会社帰りに子どもと待ち合わせして食事をしたり、自然と世代間交流の場になってきています。これもひとえに場所提供（大六福祉会様）のご理解とご支援のお陰であります。ありがとうございます。これからも人と人との繋がりを大切にしていきたいと思います。

7月26日(木)

サバカレー煮・肉じゃが
野菜サラダ・スイカ



この夏は、学生さん（小学4年・中学1年、産業能率大学生3人）のボランティアが調理・配膳のお手伝いを頑張ってくださいました。



8月7日(火)

チキンカレー春雨サラダ
ナス揚げ煮・とうもろこし
フルーツポンチ



9月～11月の予定

9月4日(火)、27日(木)

10月9日(火)、25日(木)

11月6日(火)、22日(木)



時間:午後5時半～7時半

場所:だいろくコミュニティー広場

来るいん(7Fサブサハ1階 奥)



福島の匿名さん(白クマさん)から折々に送られてきます。感謝



こども支援へ食材・物品 ありがとうございます

◆ 7月～8月のご提供者様(敬称略) ◆

三光工業(鈴川)、テーエスガス(株)(伊勢原)、ユーコープ(飯山)
安藤雅代・大久保里子(板戸)、後藤佐代子・市川七郎(高森)
木内めぐみ・渡辺健樹(沼目)、渡辺勲・佐伯省三(東大竹)
鈴木峯雄(小稲葉)、矢作光子(西富岡)、千代田工業(株)(白根)
石倉友二(上粕屋)、匿名(福島)、フードバンクひらつか(平塚)

学習サポートみらい・つなぐ



子どもの貧困や教育格差の問題が社会に認知され、日本の子どもたちにもサポートが必要ながことが認識されてきた。厚生労働省の調査では、子どもの貧困率は平成 24 年 16.3% (2012 年) から平成 27 年 13.9% (2015 年) さらに、ひとり親家庭の子どもの貧困率は 54.6% から 50.8%と、減少しています。しかし貧困ラインはほとんど変わりません。

また、日本では教育にお金がかかるため、収入が低いと子どもの学力も低い傾向にある。とくに問題とされるのは、親の経済力の差が教育格差となり、不利な就職から貧困につながるケースが多くみられ、それが子ども世代への貧困の継承という、「貧困の連鎖」を生じてしまうことである。『経済的な事情で子どもを塾に通わせられない』、『どうしても子どもに高校進学させたいが、公立高校にしか通わせることができない』など、高校受験の支援をしてほしいというものです。

私どもは「すべての子どもが夢や希望をもてる社会」を目指し、平成 28 年 9 月学習サポートみらい・つなぐ週 2 回を開設いたしました。30 年 3 月には 3 年生 12 人全員高校に進学いたしました。平成 29 年度は「困窮家庭でも利用可能な低額学習支援事業」として、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて週 2 回を実施出来ました。今年 30 年度は週 1 回「伊勢原市子ども学習習慣作り支援事業」を受託いたしました。短期間に行政のご指導ご支援をいただきながら一步一步明るい兆しがみえてきております。



夏休みも後半に向けて中学 3 年生は、高校進学に向けた取り組み、学習支援・居場所づくりといった子どもへの支援に加え、保護者に対しても相談や情報提供を通じて、家庭でも子どもの学習を支える環境づくりを行うなど、全体への支援を支えていきたいです。

学習サポートからのお願い

☆家庭・事業所等でお菓子・飲料水がありましたら提供をお願いします。
連絡先 95-6665

<9月・10月の実施日>

	火	金	火	金	火	金	火	金	火
9月	4	7	11	14	18	21	25	28	
10月	2	5	9	12	16	19	23	26	30

☆10月9日(火) お休み

けんこう(健康)つなぐ(つなぐ)うたごえ



・心身ともにいきいきと過ごしたい方・
楽しいひととき、共有できるコミュニティーの場、日本の
童謡・昭和の歌謡をとおしうたい・笑い・時をすごしましょう。

開催日：10月6日(土)、11月3日(土)
午前 10 時 30 分～12 時
場 所：シティプラザ 1 階ふれあいホール
参 加：自由 (参加費：300 円)
指導者：古川 恵子



児童コミュニティクラブだより



残暑の厳しい毎日ですが、児童コミュニティクラブの子ども達は元気な毎日をすごしております。夏休み中はボランティアの方々にご協力をいただき楽しい行事を体験しております。夏休みも終盤になりました。事故のないように夏休みを終え笑顔で新学期がスタートできるように子ども達を見守りたいと思います。

4児コミ代表 安武 敬子

夏休み中はボランティアの方、運営委員の方、児童館の指導員の方のご協力で計画した行事を楽しく過ごすことができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



人権映画



アンケート記入です。

作りました



児童館指導員による工作教室



くま先生とペンギン先生、楽しかったです。(子ども科学館)



陶芸教室

民生委員のみなさん、ありがとうございました。



読み聞かせ、楽しいお話ありがとうございました。



6月26日(火)、支援員全体研修として山崎雅翔氏に講師をお願いし「折り紙教室」を行いました。夏休み前に研修をしたいという希望に应运いただきました。日本の文化である「折り紙」の基本的な記号や、折り紙を子ども達とするときの声掛け、工夫等を教えていただきました。参加した支援員から苦手意識が少し減った、記号がわかり良かった等の声がありました。山崎講師ありがとうございました。

◆◆◆◆ 学生アルバイトの方たちからのメッセージ ◆◆◆◆

- ① アルバイトに何故児コミを選んだか ② アルバイトをして気づいた事
- ③ 児コミに思う事 の中から選んで書いてもらいました。



児コミは子どもにとっては友達作りと遊んだり工作をして楽しめる環境が理想だと思います。その反面、安全を重視している家庭が多いのではと考えています。親と子の理想を追求することが児コミの役割だと思います。(Sさん)

児コミでは個性豊かな子ども達がたくさんいて一人一人色が違う。私は一人ひとりにあった接し方をしなければいけないし、どうしたら相手に伝わるかを考えなければいけない。日々勉強の毎日、子どもから学ぶ事だらけでとても充実しています。(Sさん)

アルバイトをして気づいた事として子どもをよく見ることが大事だと感じました。ただ仲良く遊ぶだけでなく時には周りを見渡し動作一つ一つに気を配るように心がけています。事故や喧嘩の防止にもつながります。

(Kさん)



子ども達とのコミュニケーションに難しいところもありますが、いつも新しい発見や喜び、改めて様々なことを考えるきっかけをくれます。そんな時間を過ごすことのできる児コミは私にとってとても大切な場所です。(Mさん)

私は大学が教育学部だったので児コミを選びました。子どもは「明日のラジオ体操来てね」と誘ってくれたり、とても人懐っこく明るい子達ばかりです。子どもと同じ目線に立ち関わることはやりがいがあり、とても楽しいです。(Tさん)

私がアルバイトで児コミを選んだ理由は、大学のゼミの先生の紹介です。私のゼミでは「教える」というテーマのもと活動しています。小学生にマナーや規律、協調性などを少しでも伝えればと思い選択しました。(Yさん)

私がアルバイトに児コミを選んだ理由は大学で専攻している心理学をより実践的に学びたいと考えたからです。勉強したことを現場でどう活かすか日々模索しています。今後も子ども達と学び成長してゆきたいです。(Aさん)

子どもは全員同じことを考えている訳ではないので一人一人の性格に応じて対応していかなければならないことに気付かされた。些細な事でも子どもは良く見ているので、よく考えてから指導していくことが大切である。(Tさん)

子育てひろば「きらきら」



◆ 開催日 (9月~11月) ◆

- ◆活動場所 : シティプラザ1階
ふれあいホール
- ◆時 間 : 午前10時~12時
- ◆参加費 : 一組100円 予約は不要
・出入り自由です。

	火	木	火	木	火	木	火
9月		13 🖐️	25 🍷	27			
10月	2 🖐️		16 🍷		23	25	30
11月		1 🖐️	13 🍷	22	27	29	

いつでもどなたでも参加できます

🖐️ 月初めの日は手形づくりの日、🍷 ヨガ体操



7月31日(火)

ユーコープの皆様方の企画で、読み聞かせグループのおはなしゆーびんさんが紙芝居を、その後飲み物の提供と飲み物の選び方についてのお話をいただきました。



詩

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 とげとげした家族で育つと、子どもは乱暴になる
 不安な気持ちで育つと、子どもは不安になる
 「かわいい子なんだ」と言っていて育つと、子どもはみじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にする、引込みじめんな子になる
 親が他人を羨んではかりいると、子どもは人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、

子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 褒めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分を好きになる
 見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりを持って育つれば、子どもはやさしく育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、
 子どもは、この世の中はこうなんだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」(PIPA文庫)より抜粋



月初めの日は手形づくりの日

成年後見部会

法人後見担当の私

成年後見部会 出海 隆志

私は、後見活動はもとより法人後見の一担当員となるのは初めてでした。法人後見における担当員の役割は主に本人の身上監護で、財産などの管理は事務局が担います。諸事情で止むを得ず担当員を変える必要が生じた場合、それを容易に変えられるのが法人後見の大きな特徴です。

当時20代前半の被保佐人T君を保佐担当のS氏から引き継いだのは、S氏に半年程付添い同行研修した後でした。T君が車の免許を取得し、中古のフィットを購入した頃です。彼の第一印象は、知的障がい者であることを感じないものでした。彼の保佐に当たり、S氏には及ばないものの、我が息子のように接し、望みをできるだけ聞き、それを実現させてあげようと思いました。

彼の最初の望みは、グループホームからの独立です。施設関係者は彼の一人暮らしを心配されましたが、彼はホームでの食費を自炊費用に回し、独立の為に自活訓練をし、見事それらをクリアしました。身の丈に合った新居探しを手伝い、意見の相違もありましたが、本人はもとより皆が納得する独立を果たしました。彼はここで職場の利を活かし新車も買いました。彼が無駄遣いせず、コツコツとお金を貯めたから出来たのです。又、勤め先の支援で、10月の自動車整備士資格試験に向けて猛勉強中です。独立、新車、資格の話は彼の生きる意欲の顕れです。彼は目的達成の為に我慢することを知っています。これは恐らくS氏のお力によるものです。

私はもう一人K女史から引継いだ女性の後見もしています。S氏やK女史が私にバトンを手渡されたように、これからも彼らが胸張って生きていけるよう支援します。そして次の担当者に繋いで行きます。それが法人後見の良さと信じて。



● 成年後見部会定例会&研修会 ●

9月25日(火) 「障がい者とのコミュニケーションと配慮ある接し方」

講師：勝田 俊一 (障害サポートコールラビ所長・当会副理事長)

11月27日(火) 「地域共生社会と高齢社会対策大綱・・・情報提供と問題提起」

講師：島津 淳 (桜美林大学教授、当会理事)

場所：シティプラザ1階社協会議室

時間：午後7時～8時30分



成年後見部会では月1回定例会をしております。
今年度は部員の自己研鑽のため同時に研修会を開催いたします。
＜会員の方で関心のお持ちの方はご参加を＞

賛助会費・寄附金の協力をお願いします

日頃より本会の活動にはなにかとご配慮を賜り心より感謝申し上げます。

本会は、今年で創立26周年、法人化してから14周年となりますが、お陰様をもちまして、「友愛電話」「きらきら（乳幼児母子支援事業）」「成年後見」「児童コミュニティクラブ」などの活動は、軌道に乗りつつあります。また、平成28年から開始した「こども食堂」「学習サポート」も多くの皆様に支えられて充実してまいりました。29年からは「人生100才の時代」を元気に過ごそう！と「けんこうをつなぐむうたごえ」を始めました。

各事業とも、量的にもニーズが拡大する傾向にあり、また、委託事業や報酬事業についても求められる質が大変高くなってきており、人材養成への投資が非常に重要になってきています。また、当然のことではありますが、一度お引き受けした以上は相当の長期にわたって責任を持つての対応が求められます。当会の活動は、会費中心に公益的な事業とを基本としていますが、そのほか（企業・団体・個人）からのご寄付も受け付けております。本会の活動にご賛同いただき、賛助会員としての賛助会費（一口5,000円）又はご寄附をお願いできませんでしょうか。

◇賛助会費・寄付金には税制上の優遇措置があります。

当法人は平成28年9月27日に、『認定NPO法人』となりました。これにより、当法人にご寄付いただいた方々には、市県民税のほか所得税の「寄付金控除」も受けられることとなりました。

伊勢原市民の方は最大50%、市外でも神奈川県内在住者の方は最大44%の寄付金控除が受けられます。平成30年中にご寄付いただきました皆様には、平成31年1月中旬に「寄付金受領証明書」をお送りし、申告の手続き等も同時にご案内させていただきます。

◆ 寄付金申し込み ◇銀行振込・ゆうちょ銀行◇

横浜銀行 伊勢原支店 普通預金

口座番号：6116229

口座名義：特定非営利活動法人地域福祉を考える会

■振込手数料がかかります。

ゆうちょ銀行（赤い払込取扱票をご利用下さい）

口座番号：00240-6-105549

口座名義：特定非営利活動法人地域福祉を考える会

■払込手数料はかかりません。

◆ 寄付者情報の公開について

寄せられたご寄付は、感謝の意を表し、ご氏名および金額をニュースレター、ホームページにて公開させていただきます。公表を希望されない方は匿名とさせていただきます。

ありがとうございます

ご寄附者名簿（敬称略） H30. 6月～8月23日

★賛助会費

新倉歯科医院 新倉良一
20,000円

平成30年度累計
20,000円

★寄附金

小野芳野(2件)40,000円 鍛代英雄 10,000円
笹原勉 10,000円 船橋哲 10,000円 船橋茂紀 30,000円
山岡直子(2件)60,000円 秋山友子 3,000円
たかはし薬局 10,000円 N・K(2件) 14,000円
島津淳 10,000円 遠山正徳 2,400円 匿名(5件) 7,130円

合計 206,530円
平成30年度累計 576,880円